



いなふくみ

2018夏
vol.6

重度認知症患者デイケアの役割と 「なののはな」の取り組み

在宅医療連携センター退院支援課

重度認知症患者デイケア『なののはな』主任 茂木 昭博

皆さんは『重度認知症患者デイケア』という名前を今まで耳にした事がありますか？実は全国的にもそれほど数は多くなく、現在群馬県で開設している所は当会だけとなっています。今回は、当会の重度認知症患者デイケア『なののはな』について簡単に説明させていただければと思います。

一般的に他の高齢者サービスでは介護保険が主となりますが、重度認知症患者デイケアは医療保険であるため介護保険での要介護度は関係なく、例えば要支援1の方であっても毎日利用が可能となっています。

利用対象となる方は精神症状および行動異常が著しい認知症患者、つまりは認知症の周辺症状（落ち着きが無い、ひどい物忘れ、暴言・暴力等）がある方等となります。その方の精神症状や行動異常の軽快を図るため、医師・作業療法士・精神保健福祉士・看護師による多職種連携をベースに、居心地の良い環境を作ったり、関わり方や介助の仕方を工夫したりして気持ちを安定させることを目的としています。

『なののはな』では基本的な対応として、『否定しないでその人のそのままを受け入れる』という方針で利用者の方と関わっています。好きな事を可能な限り行っ

ていただく、食べたい物・飲みたい物を提供する、休みたい時には休むといった本人の自由を尊重したケアを行っています。つまり、『なののはな』では一人で過ごしたい方には無理に集団に誘うことはせず、その方のペース・居心地の良さを大切にしながら本人らしく穏やかに過ごせるよう心掛けています。

認知症の方と関わっていて大切だと感じる事は、お互いに安心できる信頼関係だと思っています。『名前も忘れてしまって誰だかわからないけれど、以前この人は私に対して良い事をしてくれた気がする』『よくわからないけれど一緒に居て何となく安心できる』といった事柄は好印象（気分が良い、楽しい、安心するといった経験）を積み重ねた結果生まれてくるものです。

認知症の方は知的・記憶能力は低下しますが情緒面はむしろ敏感になるといわれています。そのため周囲の人が『認知症でわからないだろうから何でも良い』と接すると嫌な感情（マイナス感情）のみ残ってしまいます。わからなくなっているからこそ丁寧な優しい対応を心掛けてみてください。認知症の方との関わりは大変で難しい事も多いかと思いますが、何かお困りの際はいつでも当会までご連絡下さい。



重度認知症患者デイケア なのはな

重度認知症患者デイケアとは

認知症と診断された方を対象にした医療保険による通所型の施設です。利用者様一人ひとりと密接に関わりながら、“身体とこころ”の両方に介入し、認知症症状の緩和、在宅生活の継続を支援しています。

精神科医師・看護師・作業療法士・精神保健福祉士・介護スタッフ・送迎スタッフなどが利用者の方と楽しさやあたたかさを共有し、良質なケアを提供させていただきます。

県内唯一の

重度認知症患者デイケアです。
開設4年目になります。

デイケアの1日の流れ

送迎車にて巡回し

各自自宅まで伺います。

- 9:30 到着後順次体温、血圧をチェック
- 10:00 水分補給・朝の会
今日の予定を確認し
カラオケやゲームなど集団レク
- 10:30 午前のプログラム
個別作業や個別リハなど
- 11:30 水分摂取
- 12:00 昼食・昼休み
- 13:30 午後のプログラム
集団体操
- 14:45 お茶会・帰りの会
今日の振り返りなどを行う
- 15:30 デイケア出発
各自宅へ送迎



サービス拡充について

その1

送迎サービスの範囲を広げます。

『なのはな』から片道45分の範囲で、安中、甘楽、南牧、下仁田エリアも送迎いたします。

その2

入浴サービスをします。

希望者に対して、入浴介助を行います。
(お一人様 週1~2回。※個浴ですので身体状況で難しい場合もございます。)

その3

延長利用ができます。

ご家族様が迎えに来て下さるのであれば、最長18時まで利用可能です。

相談のみでも随時受け付けています。
まずはご連絡を。



大和会では

認知症の早期対応をお手伝いしています。



1. 認知症初期集中支援チーム

認知症の早期診断・早期対応を目的として、認知症専門医と医療・福祉・リハビリの専門職（看護師、精神保健福祉士、作業療法士など）で構成しています。40歳以上で自宅で生活している認知症の方や認知症が疑われるような症状でお困りの方及びそのご家族を訪問し、在宅生活のサポートを行うチームです。富岡市 / 下仁田町 / 甘楽町 / 南牧村の地域包括支援センター等と協力体制を組み、スムーズな支援が行えるよう取り組んでいます。

2. かのほらカフェ

認知症の方やご家族を支える『認知症カフェ』です。茶話会（意見交換会）、認知症質問コーナーなどをします。偶数月は当院医師、薬剤師、看護師らによる認知症ミニ講座もあります。くつろぎの場、情報交換の場、気軽に相談できる場として開催しています。

開催日：平成30年7月14日（土） 8月4日（土） 9月1日（土）

時間：10:00～12:00 参加費：無料

場所：西毛病院 認知症デイケア『なのはな』棟1階

●問い合わせ：西毛病院 認知症疾患医療センター

TEL 0274 - 62 - 3156

8月4日（土）は

薬剤師による『ミニ講座』

を予定しています。

ぜひ、おでかけください。



3. 認知症多職種カンファレンス

2～3ヶ月に1回、主に富岡圏域のケア従事者を対象として『認知症多職種カンファレンス』という集まりを開催しています。ミニ講座やケース検討、地域のケア課題に関するグループワーク等を行っています。今回は西毛病院の亀山副院長によるミニ講座『認知症のせん妄～理解と対応～』を行いました。夕刻の18時30分開始にもかかわらず、40人近くの方々にご参加いただき、盛況のうちに終了しました。認知症や介護の話が時間が足りないくらい話合っ、時には脱線して盛り上がり、笑いと涙を交えながら地域づくりを続けています。

●問い合わせ：西毛病院 認知症疾患医療センター

TEL 0274 - 62 - 3156

4. 認知症予防運動 コグニサイズ

脳と体を同時に使い、認知症の予防、認知機能の維持・向上に役立つ運動です。当院のコグニサイズ指導者協力のもと下仁田町保健事業で活用いただいています。6月からは会場が『道の駅しもにた』に移され、毎週水曜日開催される予定となっています。参加者からは、「足が軽くなり歩くのが楽になった。」「すごく楽しくて、もっと早くから始めたかった。」といった声が寄せられています。

●問い合わせ：下仁田町役場 福祉保険課 包括支援係（地域包括支援センター）

TEL 0274 - 64 - 8804



5. 認知機能検査

記憶、見当識（時間や場所の認識）、判断など認知機能の状態を調べるための検査で、臨床心理士が行っています。検査結果は認知症の早期発見、適切な治療に役立てられます。検査にはいくつか種類があり、口頭での質問や、絵や図の描写など内容はさまざまです。患者さんに負担がかからないよう、なるべく短時間でを行うように心がけています。

○ 当院で受けられる認知機能検査

改訂長谷川式簡易評価スケール（HDS - R）、Mini Mental State Examination（MMSE）

時計描写検査（CDT：Clock Drawing Test）、FAB（Frontal Assessment Battery）など



西毛病院夏祭りへお出かけください

8月9日（木）西毛病院『夏祭り』が開催されます。『和』地域・患者様・職員の和をテーマに、一の宮保育園・下仁田荒船太鼓の皆さんをお招きして、お祭りを盛り上げていただきます。恒例のバザー・模擬店・花火も予定しています。皆さんでお出かけください。



編集後記

蒸し暑い日が徐々に増え、脱水症や熱中症に気をつけたい季節になりました。小まめな水分補給を心がけ、夏を乗り切りたいところです。認知症の方は、①体調の変化に気づきづらい、②水分補給を忘れてしまうなどの理由から、脱水症や熱中症のリスクが高いと言われています。飲み物を嫌がる方の場合、ゼリーやところてんなど、水分を多く含む食べ物で水分を補うこともお勧めできるかと思えます。



認知症フェスタ 2018 を開催します

日時 9月16日（日） 午前10：00～午後3：00

会場 富岡市生涯学習センター 参加費無料

今回は笑いをテーマに、素人落語や認知症劇『黄門様が認知症になったら Part 2』などにより、対応例をわかりやすくお話しして、認知症の介護のストレスや不安の解決のお手伝いをします。恒例の介護食品の試食会、介護福祉機器の展示、ミニ認知症カフェ等も開催予定です。皆様お誘い合わせの上、お気軽にご来場ください。



ご質問・ご相談など、お気軽にお問い合わせください。

〒370-2455 群馬県富岡市神農原 559-1 TEL 0274-62-3156

URL <http://www.seimou.org/>

平成30年6月25日 発行：医療法人 大和会 編集：広報活動委員会



医療法人 大和会

